

「板橋区DX推進計画2030」

第1章 計画の策定にあたって (P3~P6)

計画策定の趣旨・区におけるDX・計画期間

- 令和3(2021)年度の「ICT推進・活用計画2025」からDXの概念を導入し、着実に施策を推進してきた。
- 人口減少や労働力不足、AIなどの先端技術の進化を背景に、最新のデジタル技術を活用し、区民サービスの更なる向上と行政運営の効率化を一体的に推進するため「板橋区DX推進計画2030」を策定する。

区におけるDX

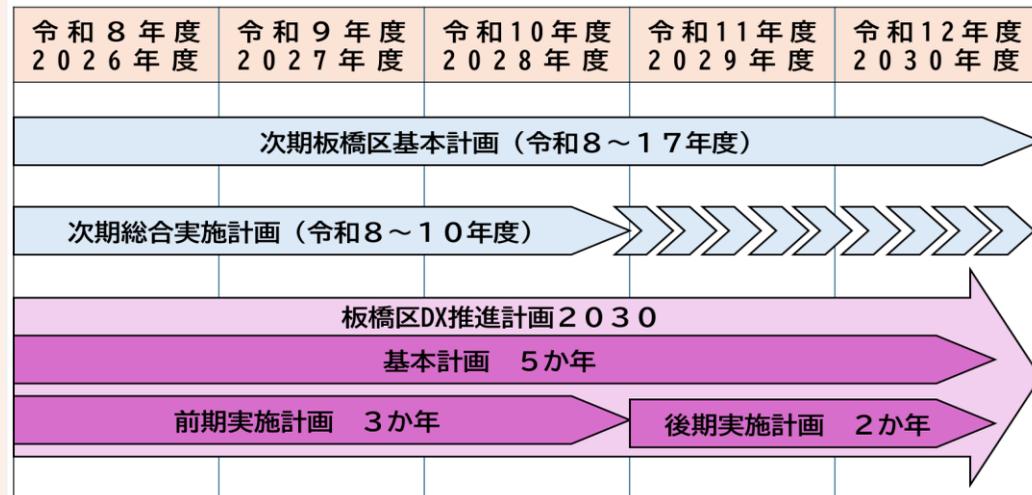
区ではIT、ICT、DXについて、それぞれを以下のように捉える。

IT：コンピュータやソフトウェアなどの情報技術全般のこと。

ICT：インターネットを通じて、ITに「通信」を加えた情報通信技術全般のこと。

DX：ICT化に留まらず、デジタルを用いて、新しい価値の創出や既存の業務にとらわれない変革を起こし、区民サービス向上を進めること。

計画期間

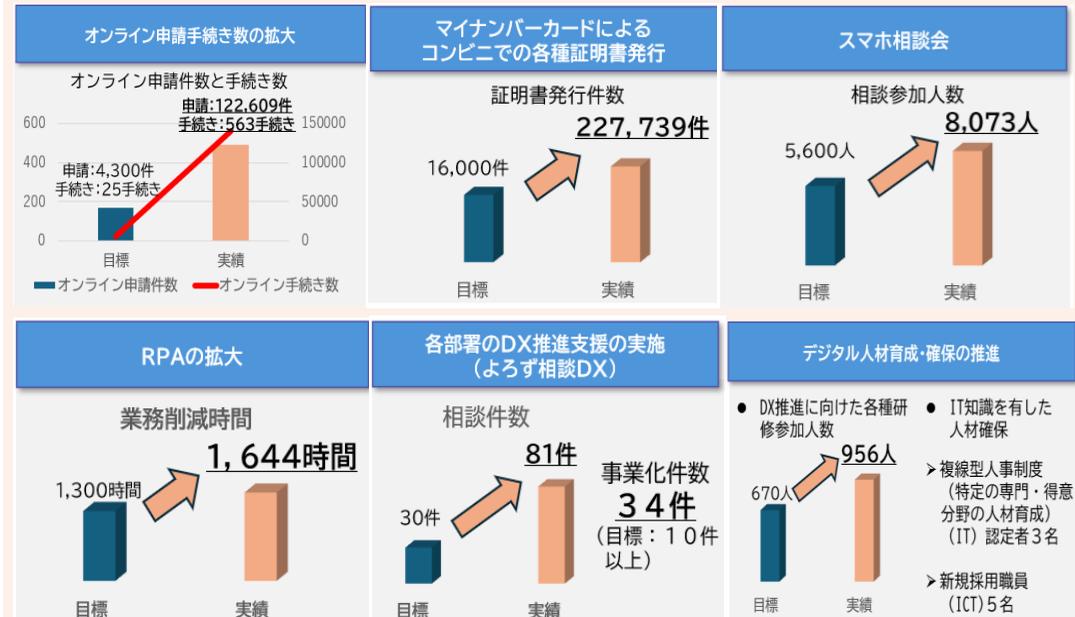


第2章 計画策定の背景と区を取り巻く環境 (P9~P21)

これまでの取組・区を取り巻く環境

これまでの取組

「DX推進計画2025」における令和6年度の各施策実績については、17施策すべて達成となった。



区を取り巻く環境



「板橋区DX推進計画2030」

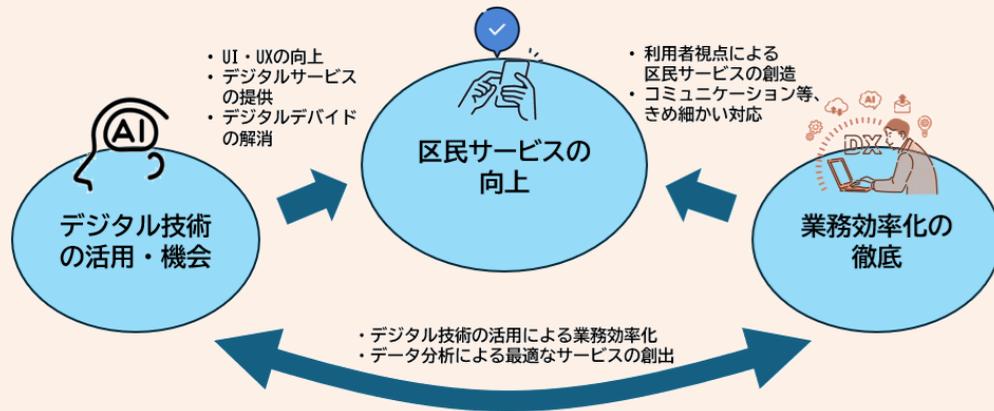
第3章 基本計画 (P24~P25)

基本計画について

本計画では、前計画での成果を踏まえつつ、急速に変化する社会環境に対応しながら、より一層区民サービスの質を高めるため、「利用者中心」の視点を重視し、誰もが使いやすさを実感できるデジタルサービスの実現をめざす。

基本方針

サービスデザイン（利用者中心）の視点で変革する
誰もが使いやすいデジタルサービス

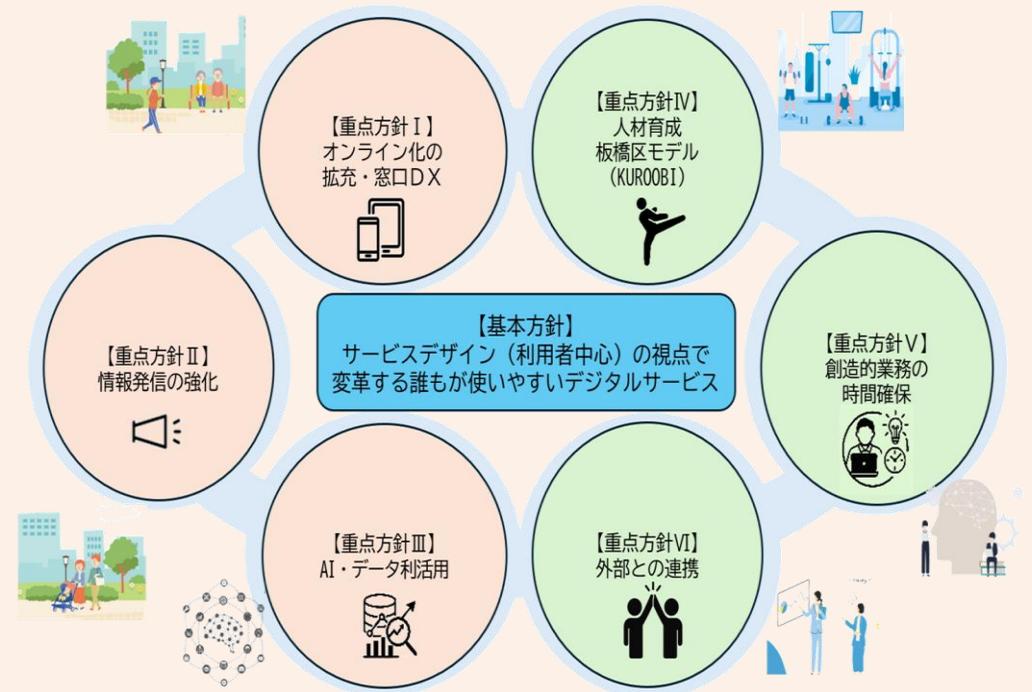


- 誰もがデジタルを意識せずに便利なサービスを受けることができるよう、UI（ユーザーインターフェース）・UX（ユーザーエクスペリエンス）を重視する。
- ホームページやオンライン申請をはじめとするデジタルサービスは、誰もが迷わず情報を取得でき、サービスを利用できるよう環境を整備する。
- AIやデータ分析により個々に最適なサービスを提供し、併せて職員の業務効率化とデジタル人材育成を進め、区民対話や新サービスの創造に注力する。
- サービスデザイン（利用者中心）の考え方を浸透させ、真に区民に寄り添った行政へと変革していく。

第4章 前期実施計画 (P28~P60)

前期実施計画について

前期実施計画は、基本計画で掲げる「サービスデザイン（利用者中心）の視点で変革する誰もが使いやすいデジタルサービス」を基に、6つの重点方針を掲げ、それぞれに令和8（2026）年度から令和10（2028）年度までの間で実施すべき施策を示し、基本計画の前期3年を着実に推進していく。



「板橋区DX推進計画2030」

前期実施計画における各施策について



重点方針Ⅰ「オンライン化の拡充、窓口DX」 施策1・2

- 行政手続きのオンライン化拡大
R10年度目標：オンライン化対応率96%、R6年度実績：78%
- オプション機能を活用したオンライン化推進（決済機能、本人確認、電子文書送付機能等）
R10年度目標：各種機能の活用10フォーム
- 窓口DXにつながる取組の推進
R10年度目標：実施取組1件以上



重点方針Ⅱ「情報発信の強化」 施策3～5

- 区ホームページの検索性向上
R10年度目標：ページ改善
- DXポータルサイト構築・運用
R10年度目標：サイトアクセス数3,300件
- LINE情報発信数
R10年度目標：1,000件、R6年度実績：779件
- 行政刊行物のデジタルデータの公開・拡大
R10年度目標：コンテンツ拡充



重点方針Ⅲ「AI・データ利活用」 施策6～9

- 生成AIを組み込んだ業務アプリの作成、区民サービスへのAI活用
R10年度目標：7アプリ作成、新サービス活用検証
- データ利活用基盤の構築・運用、ダッシュボードの作成・公開
R10年度目標：利用データの拡大・運用、ダッシュボード作成5件、R6年度実績：1件
- AI・データ利活用における人材育成
R10年度目標：生成AIアプリ開発者20名
データ利活用教育受講者20名



重点方針Ⅳ「人材育成 板橋区モデル (KUROOBI)」施策10・11

- 研修コンテンツの開発
R10年度目標：4コンテンツ
- 基礎スキル研修の実施
R10年度目標：受講者420名
- シン・DXリーダーの認定
R10年度目標：20名
- 業務アプリリリース
R10年度目標：240アプリ作成



重点方針Ⅴ「創造的業務の時間確保」 施策12～15

- RPA拡大
R10年度目標：削減時間2,500時間以上、R6年度実績：1,644時間削減
- ローコードツールの利用拡大
R10年度目標：5アプリ作成、削減時間300時間以上
- よろず相談DX実施
R10年度目標：相談件数80件以上、事業化40件以上、R6年度実績：相談件数81件、事業化34件
- テレワーク実施回数・推進に向けた検討実施
R10年度目標：4,000回、R6年度実績：3,618回



重点方針Ⅵ「外部との連携」 施策16

- 東京都またはGovTech東京伴走支援等による協働事業
R10年度目標：3事業以上参加、R6年度実績：1事業参加
- Tokyo区市町村DXawardへの参加
R10年度目標：2件以上参加、R6年度実績：8件参加

「板橋区DX推進計画2030」

関連施策（多角的なDXの推進）

重点施策で掲げた施策のほか、先端技術の活用に加えて、多角的にDXを推進していく。

「まちづくり、情報取得の格差解消、教育ICT、セキュリティ」等 施策17～22

- デジタルやデータを利用した交通サービスの実証実験(まちづくり)
R10年度目標:3D都市モデルを活用した可視化
- スマホ相談会の実施(デジタルデバйд)
R10年度目標:参加人数7,500人以上、R6実績:8,073人
- データ可視化、分析機能の充実(教育ICT)
R10年度目標:ダッシュボード機能の活用及び連携機能の充実
- 情報セキュリティ内部監査の実施(セキュリティ)
R10年度目標:計画に沿った監査を実施

施策一覧

No.	施策名	ページ
	重点方針Ⅰ オンライン化の拡充・窓口DX	30
1	手続き・サービスのオンライン化拡大と強化	33
2	窓口での行政手続きにおける利便性の向上	33
	重点方針Ⅱ 情報発信の強化	34
3	区ホームページの改善	36
4	SNSによる情報発信の拡大	36
5	区の作成する行政刊行物のデジタル公開促進	37

	重点方針Ⅲ AI・データ利活用	38
6	AI活用による内部業務の効率化と区民サービスの向上	41
7	AI・データ利活用における人材育成	41
8	データ利活用基盤の整備・情報共有の高度化	42
9	データに基づく政策・施策検討の定着	42
	重点方針Ⅳ 人材育成 板橋区モデル (KUROOBI)	43
10	DX基礎スキルの底上げ	45
11	シン・DXリーダーの創出と業務改善DXの拡大	45
	重点方針Ⅴ 創造的業務の時間確保	46
12	ツール活用による業務改善・効率化	51
13	業務システムによるペーパーレス化促進	51
14	各部署のDX推進支援の実施（よろず相談DX）	52
15	働き方改革の推進	52
	重点方針Ⅵ 外部との連携	53
16	組織を超えた支援・連携による新たなサービス創出と業務変革	55
	関連施策	56
17	新技術を積極的に活用したまちづくり	56
18	誰でも活用できるデジタル環境の整備	57
19	学校における教育ICT環境の充実	58
20	セキュリティと個人情報の適切な管理・保護の徹底	58
21	全庁LANシステムの最適化	59
22	基幹系業務システムにおける標準化・共通化	59